

令和4年度 第3回総合計画等推進市民委員会における質問への回答一覧

No	資料名/頁番号	区分	内容	回答	担当課
1	資料2 8	質問	八戸港コンテナ貨物取扱量（実入り）のKPIについて、設定の根拠をお知らせいただきたい。 （現状と比較するとかなり高い目標設定となっているが、達成する見込みのある数値なのか。KPI設定時（新型コロナウイルス感染症流行前）は上昇傾向にあったということなのか。）	本指標の目標値の設定につきましては、平成21年に青森県が策定しました「八戸港港湾計画」における貨物取扱量の目標値及びコンテナ取扱量の動向を踏まえて設定したものであります。 目標設定時である令和元年度においては、コンテナ取扱量は上昇傾向にあったものの、その後、令和2～3年にかけては、新型コロナウイルスの拡大や世界的なコンテナ物流の混乱、燃油高の影響等のため、目標設定当時と比較して社会情勢が大きく変化しております。 これにより、当初想定目標値よりもコンテナ取扱量が大幅に減少したため、取扱実績から見ても高い目標値設定となっており、達成は厳しい状況であると考えております。	商工課
2	資料2 12	質問	市内高等学校卒業就職者の県内就職率が示されているが、若年者の離職率の把握も必要だと思われるので、若年者の離職者数や離職率のデータがあればお示しいただきたい。	若年者の離職に関するデータについては、厚生労働省青森労働局が県内の新規学校卒業就職者のうち就職後3年以内に離職した割合を公表しております。 これによりますと高校卒業就職者の離職率は、 平成26年卒業者で48.1% 平成27年卒業者で43.3% 平成28年卒業者で43.4% 平成29年卒業者で41.6% 平成30年卒業者で40.2%(R3.10月公表) となっており、近年の状況を見ますと平成24年度から漸減してきております。 なお、離職率については、離職した都道府県（雇用保険適用事業所所在地）で計上されるため、必ずしも青森県で採用された者の離職を意味するものではないとのことです。	産業労政課
3	資料2 12	質問	（上記質問に関連して） 若年者・離職者対策事業の事業内容についてお知らせいただきたい。	新入社員・若手社員の職場定着率の向上や離職の防止を図るため、新入社員及び若手社員の方を対象に、仕事での電話対応術やクレーム対応術、コミュニケーション術に関するセミナーを開催しています。 昨年度の事業内容について御紹介します。 【開催実績】 ○新入・若手社員フォロー1日セミナー① 内 容：ビジネスマナー コミュニケーション法 等 開催日：令和4年2月7日 参加者：22名 ○新入・若手社員フォロー1日セミナー② 内 容：自己理解を深める ライフキャリアビジョンを考える 等 開催日：令和4年2月10日 参加者：18名	産業労政課

No	資料名/頁番号	区分	内容	回答	担当課																		
4	資料2 12	質問	(女性活躍に関連して) 市内高等学校卒業就職者の県内就職率について、男女別のデータをお示しいただきたい。	男女別のデータについては、公表されていないため、お示しすることができません。	産業労政課																		
5	資料2 17	質問	この地域で子育てをしたいと思う親の割合について、以下をお知らせいただきたい。 ①調査方法 ②この地域で子育てをしたいと回答した方の回答理由 ③思わないと回答した方の回答理由	①股関節脱臼検診や1歳6か月児健診3歳児健診で健康度調査アンケートを実施し集計結果をシステムに入力しています。 ②③アンケートに理由を回答する欄が無いため把握しておりません。 【参考】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数</th> <th>アンケート回答者数（うち、子育てをしたいと回答した人数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>4,843人</td> <td>4,835人（4,427人）</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4,713人</td> <td>4,524人（4,202人）</td> </tr> <tr> <td>H31/R1</td> <td>4,144人</td> <td>4,136人（3,804人）</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>4,661人</td> <td>4,658人（4,311人）</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3,320人</td> <td>3,315人（3,047人）</td> </tr> </tbody> </table>		受診者数	アンケート回答者数（うち、子育てをしたいと回答した人数）	H29	4,843人	4,835人（4,427人）	H30	4,713人	4,524人（4,202人）	H31/R1	4,144人	4,136人（3,804人）	R2	4,661人	4,658人（4,311人）	R3	3,320人	3,315人（3,047人）	すくすく親子健康課
	受診者数	アンケート回答者数（うち、子育てをしたいと回答した人数）																					
H29	4,843人	4,835人（4,427人）																					
H30	4,713人	4,524人（4,202人）																					
H31/R1	4,144人	4,136人（3,804人）																					
R2	4,661人	4,658人（4,311人）																					
R3	3,320人	3,315人（3,047人）																					
6	資料2 21	質問	シニアボランティア活動について、どのような活動をされているのかお知らせいただきたい。	主にお茶出しや配膳、洗濯物の整理・草刈り・施設内の清掃など、介護施設職員の補助用務等で特に資格がなくてもできる活動内容となっております。	高齢福祉課																		
7	資料2 25	質問	認知症サポーターについて、養成講座を受講する人の年齢層をお知らせいただきたい（どの年代の受講者が多いかなど）。	受講は10代から70代以上までと、幅広い年齢層の方が受講しております。一番多い年代は60代以上で、全体の約3割となっております。 ※鷗盟大学のほか町内会・老人クラブ・婦人会等の地域団体での受講が多い 次に多いのは10代で、小中学校や高校の児童生徒や、大学・専門学校等の学生で、全体の2割を占めます。 ※授業の一環としての受講が多い また、当講座は高齢者と触れ合う機会の多い企業（銀行・コンビニ・スーパー等）の職員研修や一般市民向けにも開催することもあり、受講者の年代は幅広くなっております。	高齢福祉課																		